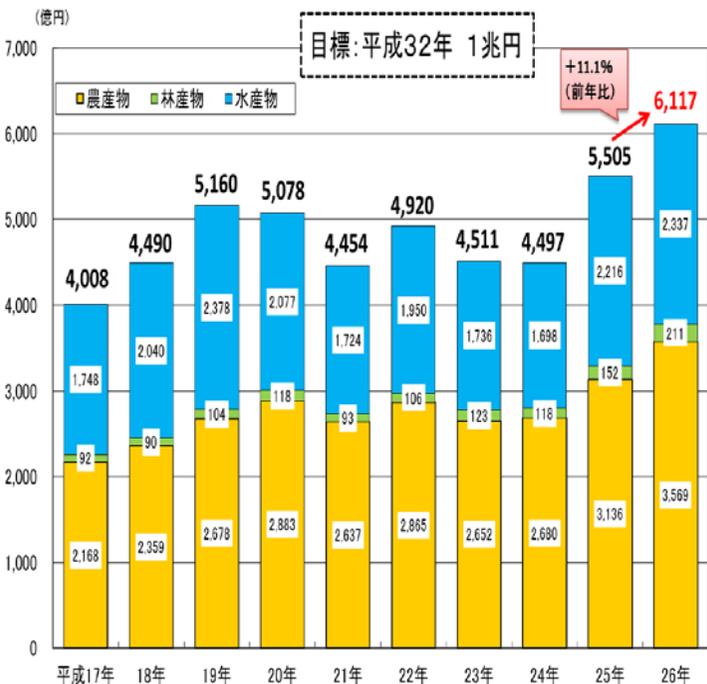


① 輸出額の推移



② 主な輸出先国

順位	輸出先国	輸出額 (対前年増減率)	輸出先上位3カ国 (億円)		
			第1位 輸出額 (対前年増減率)	第2位 輸出額 (対前年増減率)	第3位 輸出額 (対前年増減率)
1	香港	1,343 7.5%	真珠	乾燥なまこ(調製)	たばこ
			178 43.2%	101 7.7%	59 -3.1%
2	米国	932 13.9%	ホタテ貝	ぶり	ソース混合調味料
			140 24.1%	84 13.5%	53 1.5%
3	台湾	837 13.8%	たばこ	りんご	さんご
			122 -17.5%	68 13.0%	57 9.5%
4	中国	622 22.4%	ホタテ貝	さけ・ます	丸太
			134 42.6%	86 55.1%	37 168.3%
5	韓国	409 9.6%	ビール	ホタテ貝	ソース混合調味料
			35 22.6%	22 -4.6%	22 12.8%
6	タイ	348 1.1%	豚の皮(原皮)	かつお類	まぐろ類
			59 57.5%	47 -23.4%	47 30.8%
7	ベトナム	292 -0.1%	ホタテ貝	植木等	さば
			68 -3.0%	20 -32.4%	17 -9.4%
8	シンガポール	189 15.6%	小麦粉	ソース混合調味料	菓子(米菓を除く)
			12 15.5%	10 2.4%	8 18.7%
9	オーストラリア	94 17.5%	清涼飲料水	ソース混合調味料	醤油
			19 93.1%	14 13.5%	5 22.8%
10	カナダ	74 21.7%	植物性油脂	ゼラチン	うんしゅうみかん
			6 30.7%	4 -4.7%	4 36.4%
-	アセアン	1,056 5.0%	ホタテ貝	さば	まぐろ類
-	EU	332 17.1%	播種用の種等	ソース混合調味料	ホタテ貝
			18 25.9%	17 11.3%	16 -15.0%

③ 主な輸出品目の輸出額

分類	計		輸出先上位3カ国 (億円)				
	輸出額 (対前年増減率)	輸出品量 (対前年増減率)	1位 輸出額 (対前年増減率)	2位 輸出額 (対前年増減率)	3位 輸出額 (対前年増減率)	輸出先	輸出額 (対前年増減率)
農産物	3,569	—	658	650	556	台湾	11.9%
	13.8%	—	16.0%	9.0%	11.9%	香港	11.9%
菓子(米菓を除く)	148	12,426 (t)	46	33	14	香港	17.4%
	33.1%	—	15.6%	66.2%	17.4%	台湾	—
コメ	14	4,516 (t)	5	4	2	シンガポール	110.4%
	38.6%	44.7%	31.8%	23.9%	—	台湾	—
清酒	115	16,314 (kl)	41	18	13	米国	-4.9%
	9.3%	0.7%	6.6%	6.8%	—	香港	—
切花	3	57 (t)	1	1	1	米国	—
	104.1%	—	45.3%	164.7%	323.3%	中国	—
りんご	86	24,118 (t)	68	13	3	台湾	52.8%
	20.7%	24.1%	13.0%	87.8%	—	香港	—
ながいも	24	5,777 (t)	14	8	2	台湾	35.5%
	27.7%	1.1%	20.6%	40.8%	—	米国	—
牛肉	82	1,251 (t)	20	19	12	シンガポール	55.6%
	41.6%	37.6%	36.5%	50.5%	—	ベトナム	—
緑茶	78	3,516 (t)	34	10	8	米国	23.8%
	18.0%	19.5%	9.2%	28.2%	—	ドイツ	—
林産物	211	—	75	34	22	中国	34.5%
	38.5%	—	82.8%	60.9%	34.5%	韓国	34.5%
丸太	69	521,222 (m)	37	18	13	中国	59.3%
	119.6%	96.9%	168.3%	115.0%	—	台湾	—
水産物	2,337	—	690	361	316	香港	20.8%
	5.4%	—	6.1%	18.1%	20.8%	米国	20.8%
ホタテ貝	447	55,992 (t)	140	134	68	米国	-3.0%
	12.1%	-2.4%	24.1%	42.6%	—	中国	—
真珠	245	23,416 (t)	178	37	7	香港	17.7%
	30.5%	0.8%	43.2%	10.2%	—	米国	—
さば	115	105,906 (t)	27	27	17	タイ	-9.4%
	-3.7%	-6.4%	4.3%	-5.8%	—	エジプト	—
さけ・ます	114	37,870 (t)	86	13	12	中国	18.9%
	36.7%	15.1%	55.1%	-11.6%	—	タイ	—
乾燥なまこ(調製)	104	181 (t)	101	1	1	香港	—
	6.0%	6.4%	7.7%	87.0%	—	中国	—

(参考1) 輸出相談実績

平成26年10月31日に農水省本省と地方農政局等に「輸出相談窓口」を設置。

【相談件数】(27年1月末まで)

- ・農水省本省: 388件
- ・地方農政局等: 272件
- 合計660件

【相談内容】

- ・輸出を始めるための手続きの相談 59件
- ・輸出に取り組むための補助制度の照会 45件
- ・放射性物質輸入規制関係(輸出証明書、産地証明書)388件
- ・輸出先国の規制情報(動植物検疫、残留農薬等)122件
- ・その他(台湾における輸入規制強化(報道、パブコメ)の内容等)46件

(参考2) 平成26年の輸入規制等緩和の動き(例)

【放射性物質に係る輸入規制】

政府一体となった働きかけの結果、徐々に撤廃・緩和の動き。

- ・完全撤廃: 豪州(1月)
- ・緩和: EU(4月)、シンガポール(7月)、タイ(11月)、米国(12月)等 (輸入証明書の対象品目・地域の縮小など)

【動物検疫】

(牛肉)BSEを契機として輸入を禁止した各国と検疫協議を実施。

- ・輸出解禁: メキシコ(2月)、ニュージーランド(2月)、ベトナム(3月)、フィリピン(3月)、カタール(7月)、インドネシア(11月)、ロシア(12月)
- ・検疫条件の緩和: シンガポール(3月) (EU向けについても、6月より輸出が開始)

(参考3) 為替レート等

○為替レートの推移

年	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年
円/ドル	94	88	80	80	97	105
円/ユーロ	130	117	111	102	129	140

出典: 税関税関長(元)レポート(農林水産省作成)

○食品輸出企業の代金決済通貨

	日本円	米ドル	ユーロ	その他	不明	計
企業数	336	74	4	5	15	434
割合	77.4%	17.1%	0.9%	1.2%	3.5%	100%

出典: JETROアンケート調査(2014年9月)

○主な品目群の平成26年輸出品量

品目群	平成25年 輸出品量	平成26年 輸出品量	対前年 増減率
コメ(援助米除く)	3,121 (t)	4,516 (t)	44.7%
肉類	11,215 (t)	13,522 (t)	20.6%
酪農品	4,536 (t)	6,540 (t)	44.2%
青果物	35,670 (t)	41,168 (t)	15.4%
菓子類	31,702 (t)	39,049 (t)	23.2%
アルコール飲料	77,197 (kl)	87,796 (kl)	13.7%
植物性油脂	11,339 (t)	14,277 (t)	25.9%
清涼飲料水	50,555 (kl)	72,136 (kl)	42.7%
ソース類	74,038 (t)	82,159 (t)	11.0%
木材	264,715 (m)	521,222 (m)	96.9%

輸出促進の推進体制(輸出戦略実行委員会)

- 農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略に基づく取組の検証や、オールジャパンでの実効性ある輸出拡大に向けた取組体制等について議論を行うため、農林水産物等輸出促進全国協議会の下に各重点品目の団体等で構成する輸出戦略実行委員会を設置。

農林水産物等輸出促進全国協議会

農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略
(2013年8月策定)

Cool Japan戦略

Visit Japan戦略

司令塔

輸出戦略実行委員会

国際農産物等市場構想

日本食文化コンソーシアム

Global Food Value-Chain構想

品目部会

2014年6月設立
構成:品目別団体(コメ、畜産物、茶、花き、酒、木材、水産物)、全国知事会、日本貿易会、JETRO、食品産業センター、全農、全中、関係省庁(農水、外務、財務、厚労、経産、国交、観光、知財事務局)
目的:重点品目ごとの輸出戦略に基づき、**オールジャパンでの輸出拡大に取り組む**

輸出商社等の専門家も含めた議論の場を設置し、**品目別輸出団体等が輸出拡大に向けて取り組むべき方針**を作成。

- 輸出拡大方針の策定 オールジャパンでのマーケティング(対象市場、PR手法等の選定)、品目別輸出団体の育成の検討 等
- 優先的に対応が必要な規制・制度の整理

牛肉部会

加工品部会
コメ・コメ

分科会
日本酒

青果物部会

品目別分科会
柿、リンゴ等

茶部会

花き部会

水産物部会

林産物部会

設立済

設立済

品目ごとの輸出団体

設立済

設立済

設立済

設立済

【取組】産地間連携の推進、市場調査、見本市、商談会への参加、ジャパンブランド確立、オールジャパンでの日本産品PR 等

(例) 和牛セミナー、試食会を開催 (平成26年6月25日ホーチミン、6月30日ロンドン、7月26日マシコシティ)

テーマ別部会

品目横断的な主要テーマについて、輸出を促進/障害を除去するための方策を議論。

物流部会

卸売市場部会

輸出環境課題部会

既存添加物分科会

畜肉エキス分科会

米国食品安全強化法部会

ハラル部会

地方ブロック意見交換会

地域ごとの課題を聴取。輸出戦略、産地間連携の取組みを説明し、意見交換。

国内

現地

JETRO

農林水産省等と一体となって支援

本部(東京・大阪)
国内40貿易情報センター

- ・相談対応＝情報のワンストップサービス (2013年4月～14年3月末の相談窓口実績 7,622件)
- ・輸出事業セミナーの開催 (商談スキルセミナー、海外マーケットセミナー等)
- ・国内商談会の開催
- ・専門家によるサポート(個別企業支援)等

海外事務所
56カ国、76事務所

- ・海外商談会の開催
- ・海外見本市への出展
- ・海外プロモーターによるサポート(商談、マッチング、バイヤー発掘等)
- ・市場調査等